

# 令和5年度 滋賀県ひとり親家庭等生活実態調査

## 【ひとり暮らし寡婦用】

### 調査対象者

- ・母子家庭
- ・父子家庭
- ・ひとり暮らし寡婦  
40歳以上65歳未満の配偶者のいない女性で、現在ひとり暮らしの方  
ただし、未婚で子どもがおられない方を除きます。

※この調査票は対象と思われる家庭を無作為に抽出し送付しています。

### ～調査協力をお願い～

日頃から県政に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

滋賀県では、ひとり親家庭等の支援を推進するため、「淡海子ども・若者プラン」を策定し各種事業に取り組んでいます。同プランは令和6年度をもって計画期間満了となることから、ひとり親家庭等の生活の状況や支援ニーズを把握し次期計画に活かすため、上記対象者に「ひとり親家庭等生活実態調査」を実施します。調査結果は、ひとり親家庭等への支援事業を検討するための貴重な資料として活用します。

お忙しいところ恐縮ですが調査の趣旨を御理解いただき御協力くださいますようお願いいたします。

※この調査は無記名であり、皆様からの回答は統計的に処理します。調査の目的以外には決して使用しません。

令和5年8月 滋賀県

### 御記入にあたってのお願い

1. ご本人(封筒の宛名の方)が御回答ください。
2. 回答は、あてはまる番号に○印をつけ、口の中にはあてはまる数字を記入してください。その他を選んだ場合は()内に内容を記入してください。
3. 令和5年8月1日現在の状況についてお答えください。
4. 調査票の記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて返送してください。切手は不要です。住所・氏名の記入も不要です。
5. 所要時間は15分程度です。
6. 調査の締切は**9月21日(木)必着**です。
7. ご不明な点がありましたら、お問い合わせください。

滋賀県 健康医療福祉部 子ども・青少年局 家庭支援推進室 家庭支援係  
大津市京町四丁目1番1号 電話 077-528-3554 FAX 077-528-4854

【世帯の基本情報について】

質問1 あなたの住んでいる市町はどこですか。(○は1つ)

- |         |          |         |          |         |         |
|---------|----------|---------|----------|---------|---------|
| 1. 大津市  | 2. 彦根市   | 3. 長浜市  | 4. 近江八幡市 | 5. 草津市  |         |
| 6. 守山市  | 7. 栗東市   | 8. 甲賀市  | 9. 野洲市   | 10. 湖南市 |         |
| 11. 高島市 | 12. 東近江市 | 13. 米原市 | 14. 日野町  | 15. 竜王町 | 16. 愛荘町 |
| 17. 豊郷町 | 18. 甲良町  | 19. 多賀町 |          |         |         |

質問2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1. ~19歳   | 6. 40~44歳 |
| 2. 20~24歳 | 7. 45~49歳 |
| 3. 25~29歳 | 8. 50~59歳 |
| 4. 30~34歳 | 9. 60歳以上  |
| 5. 35~39歳 |           |

【世帯の状況について】

質問3 あなたが元夫等と離別した時期を記入してください。(数字を記入)

1. 昭和		年		月
2. 平成				
3. 令和				

質問4 あなたが元夫等と離別した事情について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |               |
|---------------|
| 1. 離婚(協議)     |
| 2. 離婚(調停・裁判等) |
| 3. 死別         |
| 4. 未婚         |
| 5. 遺棄、行方不明    |
| 6. その他( )     |

質問5 あなたがひとり暮らしになった時期を記入してください。(数字を記入)

1. 昭和		年		月
2. 平成				
3. 令和				

質問6 あなたがひとり暮らしになった理由について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

(※理由が複数ある場合は、直近のもの。例:配偶者との離婚後に子どもと別居した場合は「4」を選択)

- |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 配偶者と死別 | 2. 配偶者と離婚 | 3. 子どもと死別 | 4. 子どもと別居 |
| 5. その他( ) |           |           |           |

質問7 別居している子ども(既婚の子を含む)の数について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人以上 4. 子どもがない

質問8 別居している子どもとの今後の同居について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 同居したいがやむを得ない事情でできない  
2. 将来は同居の予定  
3. 今後も一人で暮らしたい  
4. わからない

【住居の状況について】

質問9 あなたの現在の住居の状況について、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 持家(本人名義)  
2. 実家や家族の家に同居  
3. 賃貸住宅  
4. 県営・市営住宅  
5. 公社・公団住宅  
6. 社宅  
7. その他( )

補問1 (質問9で「3」「4」「5」「6」を選んだ方)

あなたの1か月あたりの家賃を教えてください。(数字を記入)

月額  円程度 ※共益費を含む

【仕事と収入について】

質問10 あなたの現在の雇用形態について、あてはまるものにつけてください。(○は1つ)

1. 正規の職員・従業員  
2. 労働者派遣事業所の派遣社員  
3. パート・アルバイト等  
4. 会社などの役員  
5. 自営業  
6. 家族従業者  
7. その他( )  
8. 就労していない(質問15へ)

質問11 あなたの主な仕事にあてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 管理的職業
2. 研究・技術の職業
3. 法務・経営・文化芸術等の専門的職業
4. 医療・看護・保健の職業
5. 保育・教育の職業
6. 事務的職業
7. 販売・営業の職業
8. 福祉・介護の職業
9. サービスの職業
10. 警備・保安の職業
11. 農林漁業の職業
12. 製造・修理・塗装・製図等の職業
13. 配送・輸送・機械運転の職業
14. 建設・土木・電気工事の職業
15. 運搬・清掃・包装・選別等の職業

質問12 あなたが現在の仕事につかれたのは、配偶者と離別する前ですか、後ですか。(○は1つ)

1. まえ(→質問13へ)
2. あと

補問1 (質問12で「2. あと」を選んだ方)配偶者と離別する前の雇用形態について、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 正規の職員・従業員
2. 労働者派遣事業所の派遣社員
3. パート・アルバイト等
4. 会社などの役員
5. 自営業
6. 家族従業者
7. その他( )
8. 就労していなかった

補問2 (質問12で「2. あと」を選んだ方)現在の仕事を見つけた方法について、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 親族の紹介
2. 知人の紹介
3. 公共職業営業所(ハローワーク)の紹介
4. 広告、情報誌、インターネット等により自分で見つけた
5. 母子家庭等就業・自立支援センターの紹介
6. 自立支援プログラム策定事業の利用
7. その他( )

補問3 (質問12で「2. あと」を選んだ方)求職活動上の問題について、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. 相談先がわからなかった    | 6. 就業時間が合わなかった |
| 2. 求職中の育児の支援がなかった | 7. 職業経験が少なかった  |
| 3. 適職がわからなかった     | 8. 特に問題はなかった   |
| 4. 年齢制限があった       |                |
| 5. 資格・技能が合わなかった   |                |

質問13 現在、就労されている方にお聞きします。週の平均労働時間はどれぐらいですか(残業や副業含む)。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 20時間未満
2. 20～30時間未満
3. 30～40時間未満
4. 40～50時間未満
5. 50時間以上
6. その他( )

質問 14 現在、就労されている方にお聞きします。あなたは現在、仕事を変えることや、やめることを考えていますか。あてはまるもの○をつけてください。(○は1つ)

1. 現在の仕事を続けたい(質問 17へ)
2. 仕事を換えたい
3. 仕事をやめたい

→ 補問1(質問 14で「2」「3」を選んだ方)「仕事を換えたい」、「仕事をやめたい」理由のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 収入がよくない
2. 健康がすぐれない
3. 職場環境になじめない
4. 身分が安定していない
5. 勤め先が自宅から遠い
6. 仕事の内容があわない
7. 労働時間があわない
8. 休みが少ない
9. その他( )

現在、就労していない方(質問10で「8. 就労していない」を選んだ方)にお聞きします。

※該当しない方は質問17へ

質問15 就労したいと考えていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 就労したい
2. 就労は考えていない

質問16 就労していない(就労できない)理由のうち、最もあてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 収入面で条件の合う仕事がない
2. 年齢的に条件の合う仕事がない
3. 就業時間について条件の合う仕事がない
4. 子どもの世話をしてくれる人がいない
5. 働かなくても経済的に困らない
6. 病気(病弱)やけがで働けない
7. 家族の介護や看護で働けない
8. 職業訓練を受けたり、技術を修得中である
9. その他( )

【経済状況について】

質問17 令和4年の(ア)年間就労収入、(イ)年間総収入について、あてはまるものに○をつけてください。

(ア)あなたの年間就労収入(給与・ボーナス等の合計で税控除前の額。副業している方は、副業分の就労収入も含まれます。)(○は1つ)

1. なし
2. 100万円未満
3. 100万円～200万円未満
4. 200万円～300万円未満
5. 300万円～400万円未満
6. 400万円～500万円未満
7. 500万円～600万円未満
8. 600万円～700万円未満
9. 700万円～800万円未満
10. 800万円以上

(イ) あなたの年間総収入(給与ボーナスの他、年金、仕送り、財産収入、生活保護費等を含みます。)(○は1つ)

1. なし
2. 100万円未満
3. 100万円～200万円未満
4. 200万円～300万円未満
5. 300万円～400万円未満
6. 400万円～500万円未満
7. 500万円～600万円未満
8. 600万円～700万円未満
9. 700万円～800万円未満
10. 800万円以上

質問18 あなたは暮らし向きについて、どう感じていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. たいへん苦しい
2. 苦しい
3. ふつう
4. 多少ゆとりがある
5. とてもゆとりがある

【医療費について】

質問19 あなたの健康保険(医療保険)の加入の状況について、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 市町の国民健康保険に加入している
2. 被用者保険(協会けんぽ、組合健保、共済組合等)に加入している(本人)
3. その他の社会保険(扶養家族)
4. 加入していない

質問20 前月(7月)にかかった医療費(病院等への支払)について、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 0円
2. 1円～2,000円未満
3. 2,000円～5,000円未満
4. 5,000円～10,000円未満
5. 10,000円～20,000円未満
6. 20,000円～30,000円未満
7. 30,000円以上

【生活について】

質問21 家庭のインターネット環境について、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 通信量に制限がない環境
2. 通信量に制限がある環境
3. インターネットに接続できる環境はない
4. わからない

質問22 お金の悩みとして、あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 洋服や趣味などにお金を使えない
2. 友人等の交流に参加できない
3. 子どもに必要なお金が足りない
4. 食費が足りない
5. 水光熱費の負担
6. 家賃の負担
7. 借金・ローン返済
8. その他( )
9. 特になし

質問23 今の生活の悩みとして、あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 自分の健康
2. 仕事の拘束時間
3. 家事の負担
4. 食生活・栄養
5. 家が狭い・快適でない
6. 寡婦への周囲の理解不足
7. 社会からの孤立感
8. その他( )
9. 特になし

質問24 将来の不安として、あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 生活費が足りなくなる事
2. 就職・転職ができるかどうか
3. 今の仕事が続けられるかどうか
4. 自分の親の介護
5. 子どもの将来
6. 結婚・再婚・パートナーとの付き合い方
7. 自分の老後のこと
8. その他( )
9. 特になし

質問25 悩みを相談できる相手はいますか、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. いる
2. 欲しい (質問26へ)
3. 必要がない (質問26へ)

補問1 (質問25で「1. いる」を選んだ方)相談できる相手はどなたですか。(○はいくつでも)

1. 親族
2. 友人・知人
3. 県や市町の相談窓口
4. その他の公的な相談窓口
5. 民間団体
6. その他( )

質問26 新型コロナウイルス感染症の流行前(令和元年(2019年)以前)と流行後(令和2年(2020年)以降)を比較して、月あたりの就労収入は最大でどの程度変化しましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. ほとんどなくなった
2. 半分程度になった
3. 半分までではないが、減った
4. ほとんど変わらない(質問27へ)
5. 増えた(質問27へ)
6. もともと就労していない(質問27へ)
7. その他( ) (質問27へ)

補問1 (質問26で「1」「2」「3」を選んだ方)

減収にはどのように対応しましたか、あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 子どもにかかる費用の節約
2. 洋服や趣味などの節約
3. 食費の節約
4. 水光熱費の節約
5. 預金の取り崩し
6. 求職活動をした、または、就職した
7. 公的な給付金・貸付の申請
8. 借金
9. その他( )

補問2 (質問26で「1」「2」「3」を選んだ方)

現時点(令和5年(2023年)8月現在)で、就労収入は回復しましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 現在は新型コロナウイルス流行以前の水準まで回復した
2. 多少回復したが以前の水準までには戻っていない
3. 減収したまま回復していない
4. 回復し、新型コロナ流行以前の水準以上に収入が増加した

【公的制度や団体の利用状況について】

質問27 あなたは下記の制度や団体を利用したことがありますか。(ア)から(カ)のすべてについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。(○は1つずつ)

	1. 利用したことがある。	利用したことがない			
		2. 必要ない	3. 知らなかった	4. 要件を満たしていない	5. 使っていない
(ア)医療費助成(福祉医療制度(マル福)) 医療費の自己負担分を助成	1	2	3	4	5
(イ)年金(遺族年金・障害年金等)	1	2	3	4	5
(ウ)家庭生活支援員の派遣(日常生活支援) ひとり親世帯等の方が病気などで日常生活の援助が必要な場合、ヘルパー派遣や児童の預かりを実施	1	2	3	4	5
(エ)生活福祉資金 社会福祉協議会を実施主体として、低所得世帯等に資金の貸付けを行う。新型コロナの休業・失業等に対してコロナ特例貸付を行った。	1	2	3	4	5
(オ)母子・父子・寡婦福祉資金 修学資金、住宅資金等を無利子または低金利で貸し付けている。	1	2	3	4	5
(カ)母子福祉援護資金(小口資金) 子どもの入学就職、その他資金が急に必要な時の貸付け。滋賀県母子福祉のぞみ会が実施主体。	1	2	3	4	5

【相談窓口の利用状況について】

質問28 あなたは下記の相談窓口を利用したことがありますか。(ア)から(ケ)のすべてについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。(○は1つずつ)

	1. 利用したことがある。	利用したことがない		
		2. 知らなかった	3. 使いつらい	4. 必要ない
(ア)滋賀県ひとり親家庭総合サポートセンター ひとり親家庭の生計、子育て、就労、住まい、メンタルヘルス等さまざまな相談に応じる	1	2	3	4
(イ)母子家庭等就業・自立支援センター 就業相談、就業支援講習会、就業情報等さまざまな就業支援を行う	1	2	3※	4※
(ウ)市町福祉関係窓口 子育てやひとり親支援全般の相談に応じる	1	2	3	4
(エ)民生委員児童委員 地域で困りごと相談等に応じる	1	2	3	4
(オ)子ども家庭相談センター女性相談部門(婦人相談所) 女性が抱える様々な問題や悩みの相談に応じる。DV相談窓口を兼ねる	1	2	3	4
(カ)男女共同参画センター(G-NETしが) 男女共同参画の取組を支援するための総合的な拠点で、研修、各種相談、交流活動の場	1	2	3	4
(キ)(無料)法律相談 母子家庭等就業・自立支援センターが行う無料の法律相談。弁護士または司法書士が応じる。	1	2	3	4
(ク)こころんだいやる(電話相談) 育児や進路、いじめ、不登校、非行、虐待など子どもや親の不安・悩みの相談	1	2	3	4
(ケ)LINE相談(滋賀県こころのサポートしが) 子育て、学校、いじめなど、様々な相談をラインで行う	1	2	3	4

補問1(問28(イ)で「3」「4」を選んだ方) ←

「母子家庭等就業・自立支援センター」を今まで利用しなかった理由、利用したいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 相談する時間・余裕がない
2. 開設時間に利用できない(開館時間 火～日・祝 午前9時～午後5時)
3. 県や市の他の相談窓口を利用している
4. 他の民間団体の相談窓口を利用している
5. 相談したいことがない
6. 相談も含め公的支援を受けることに抵抗がある
7. その他( )

すべての方にお聞きします。

質問 29 寡婦の支援に関する情報をどこから入手していますか、あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 県ホームページ
2. 市・町ホームページ
3. ひとり親家庭等のしおり
4. 親族・友人・知人からの情報
5. 母子寡婦福祉団体からの情報
6. 上記以外のインターネット、SNS
7. その他( )
8. 特にない

質問30 寡婦のために必要と感じている施策はなんですか、あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 相談事業の充実
2. 経済的支援の充実
3. 就業支援の充実
4. 家事や介護の支援の充実
5. 当事者同士の交流の充実
6. 母子寡婦福祉団体等の支援
7. 住宅対策の充実
8. その他

具体的に:

ひとり親家庭(寡婦含む)への支援事業にかかるご意見・ご要望や、普段感じておられる思い等がございましたらどんなことでも構いませんのでご記入ください。

お忙しいところ、たくさんの質問に答えていただきありがとうございました。

この調査の結果は県ホームページで公開します。また、次期「淡海子ども・若者プラン」策定の基礎資料として活用します。

回答期限は9月21日(木)必着ですので、それまでにご返送いただきますようお願いいたします。

—ありがとうございました—